

『政治・経済』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 3年 選択教室 I

(3) 学年・学級 第3学年(選択者30名)

使用教科書『詳述 政治・経済』(実教出版)

(4) 単 元 名 大項目B グローバル化する国際社会の諸課題 現代の国際政治

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

1年次に「歴史総合」、「地理総合」、2年次に「公共」を履修しており、選択・判断の手掛かりとなる考え方など基本的な事項は、一定理解している。

【単元のねらい】

・国際社会の変遷、人権、国家主権、領域などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。

・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の役割について多面的・多角的に考察し、表現する。

・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。

【生徒の状況】

・3年次では、「倫理」または「政治・経済」のいずれかを選択することになっており、「政治・経済」選択者は半数以上が大学入学共通テストで「政治・経済」を受験する予定である。

・年度当初の授業アンケートで、「議論を交わし、自分の考えを説明したり、論述したりすることが苦手」と回答した生徒が約2割いるが、取り組むことができている。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (2時間)	・国際政治の特質と国際法 人権、国家主権、領域などに関する国際法の意義について話し合い、理解を深める。	個別 グループ	知識・技能
	・国際連合と国際協力 国際機構に関する諸資料等を用いて、国際連合や地域的な政府機関の役割について調べ、考察する。	個別 グループ	思考・判断・表現
第二次 (2時間)	・現代国際政治の動向 国際社会の変遷について、現実社会の諸事象を通して理解する。	個別	知識・技能
	・核兵器と軍縮 軍拡や核兵器廃絶などに関する国際的な取組について話し合い、国際紛争の諸要因を基に考察する。 教科書 P189～P192(本時)	個別 ペア	思考・判断・表現
第三次 (2時間)	・国際紛争と難民 国際紛争の要因を考え、問題の解決に向け、国際社会においてどのような制度や仕組みを作ることが必要か話し合い、考察する。	個別 グループ	思考・判断・表現
	・国際政治と日本 我が国の安全保障と防衛、国際貢献の歩みを理解しながら、「人間の安全保障」の実現に向け、日本が取り組むべきことについて考えをまとめる。	個別 グループ	知識・技能 思考・判断・表現

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『公民科 (倫理)』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 3年B組教室

(3) 学年・学級 第3学年B組(16名)

使用教科書 高等学校 倫理 (第一学習社)p86~105

(4) 単 元 名 自由で平等な社会の実現

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

・生徒全員が1年次に「歴史総合」「地理総合」、2年次に「公共」を履修し、思想家の名前や基本的事項については一部学習している。

【単元のねらい】

・善、正義、義務などに着目して、社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観について理解する。古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付ける。

・古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し表現する。

・現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする。

【生徒の状況】

・授業者の話をよく聴き、授業態度も良く、定期考査では、基礎・基本的な事項・事柄を問う問題の正答率が高い。

・グループ学習などには積極的に取り組めるが、習得している知識や諸資料を活用して考察したり、根拠をもって主張したりする経験をあまりしていない。

・先哲の思想を手掛かりとして、人間としての在り方生き方について自己の課題を結び付けて考えることに十分には慣れていない。

(6) 指導計画(全10時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (2時間)	○単元課題「近代の西洋思想の進化の過程について、善に着目してまとめる」(1000字)について確認し、見通しを持つ。 ○社会契約の思想(ホッブズ)	一斉 グループ	知識・技能
	○社会契約の思想(ロック、ルソー)	一斉、個別 グループ	思考・判断 ・表現
第二次 (4時間)	○人格の尊厳と自由(カント) ・批判哲学とコペルニクス的転回	一斉 ペア	思考・判断 ・表現
	○人格の尊厳と自由(カント) ・道徳法則と人格の尊厳	グループ 一斉	知識・技能
	○人倫と自由の実現(ヘーゲル) ・絶対精神と歴史	一斉、ペア グループ	知識・技能
	○人倫と自由の実現(ヘーゲル) ・弁証法と人倫	一斉 個別	主体的に学習 に取り組む態度
	○単元課題の善について、ここまでの学びから考察する。		
第三次 (4時間)	○功利主義の思想(アダム・スミス、ベンサム) 本時:教科書p100~101	個別 グループ	知識・技能
	○功利主義の思想(J. S. ミル)	個別 グループ	思考・判断 ・表現
	○実証主義と進化論(コント、ダーウィン、スペンサー) ○単元課題の「思想の進化」について、グループ内で発表し、意見交換する。	個別 ペア	知識・技能
	○単元課題「近代の西洋思想の進化の過程について、善に着目してまとめる」(1000字)に取り組む。 ○単元の振り返りをする。	一斉 グループ	主体的に学習 に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。